

# テックドクターによる現地診断・道路防災検討会 (熊本県荒尾市宮内出目地区)

- R6.1月に小規模の崖錐崩れが市民通報によって発覚した。進行性があることが確認され、今後国道への土砂流入が懸念される。テックドクターには崖錐崩れについて国道に対する影響と周辺の地形状況を現地診断していただき、道路防災検討会で今後の対応を伺った。
- 開催日:令和6年11月11日
- 参加者:TEC-Doctor(熊本大学 北園名誉教授、熊本大学 椋木教授)、熊本河川国道事務所

## ● テックドクターによる現地診断



### 【TEC-Doctorの見解】

- 対象の崖錐崩れ上部がオーバーハングの形状であるかつ中低木が繁茂していることを確認した。崩壊進行の抑制策として、崖錐崩れ上部の中低木は根茎を残しつつ、伐採することが望ましい。
- 対策予定範囲内にあるNTT管理の電柱が道路に向かって傾倒していることを確認した。今後電柱が国道に向かって倒れこむ可能性があるため早期措置が望ましい。
- 対象の崖錐崩れ直下には通常点検箇所があるが、変状の進行が認められないので経過観察として扱う。  
※調書へは危険斜面が付近にあることを明記すること。